

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272300880		
法人名	有限会社セイリュウ		
事業所名	グループホームもみじの森		
所在地 (電話番号)	〒036-0242 青森県平川市猿賀石林37-3 (電話) 0172-43-5213		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年12月18日	評価確定日	平成22年2月4日

【情報提供票より】(平成 21年 12月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 12月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,400 円	その他の経費(月額)	6,000~秋冬期12,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 74 歳	最低	60 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	なみおか腎・泌尿器科クリニック
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームの周りには畑や田園が広がり、近隣には盛美園や猿賀神社があり、緑一杯の環境の中に立地している。ホームの中は天窓から陽が射しこみ、明るく暖かさが感じられ、近代的な設備が整っている。ホームの理念である地域の方たちとの関わりを通して、利用者に生きがいを持って生活していただけるよう、職員全員が明るく前向きに日々取り組んでいる為、利用者の表情や行動が生き生きしており、家庭的で利用者職員が支え合いながら生活している暖かさが感じられる。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題である理念に関しては、地域の方々との関わりを充実させることで利用者の生きがいに繋がるように職員全員で取り組んでいる。外部研修への参加は今回も少ない為情報や知識を得られるよう、学ぶ機会を増やすことが期待される。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で取り組み、改善課題に関しても理解しており、前向きな話し合いがされ、サービスの質向上に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>地域性もあり、運営推進会議のメンバーが農繁期と重なったり、新型インフルエンザの関係もあり、今年度は1回も開催出来ていない。年明けに開催を予定しているが、まずは参加出来る範囲で、2ヶ月に1回定期的に行い、サービスの質向上に反映されることを期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>玄関に意見、要望箱を設置し、要望等が出しやすいよう配慮されている。家族は面会に来た時に直接話してくれることが多く、誤解が生じないように確認した上で迅速に対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近くの保育園の行事へ参加したり、地域の方が訪問してくれる。また、ホームの納涼祭には地域の方を招待したり、散歩の時に気軽に声をかける等、地域の一員としての理解と交流が図られている。しかし、災害時の協力体制が出来ていない為、今後は協力体制が築かれることを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し「地域の皆様と共に福祉のことを考え、地域の皆様と共に福祉活動に貢献します。」という新たな理念を掲げた。地域の方と関わりを持つことで、利用者に生きがいを感じていただき、その生きがいを職員の生きがいにできるようにとの願いが込められている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は毎日朝礼で理念を唱えている。職員は理念をしっかり把握し、利用者が地域の方と関わりを持つ事で疎外感がないように、生きがいを持って生活出来るよう支援されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近くの保育園のお遊戯会へ参加したり、町内のねぶた囃子の訪問や婦人部のコーラスの訪問を受け入れる等積極的に交流している。小学校からは餅つき会の餅を頂いたり、近所の方からは野菜を頂くこともあり、気軽に声をかけ合っている。また、ホームの納涼祭には地域の方を招待しており、地域の一員としての理解と交流に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員で自己評価に取り組んでいる。前回の外部評価結果については、職員会議で改善に向けた話し合いがされている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域性もあり、メンバーが農繁期と重なったり、新型インフルエンザの関係で今年度は1回も開催出来ていない。年明けに実施する予定である。</p>		<p>農繁期等の理由はあるが、民生委員、市職員、家族、利用者、職員でまずは参加出来る範囲で定期的の実施することが望まれる。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者へ相談し、色々な助言をいただいている。献立作成時も保健師からアドバイスを受けている。何かあった時には直ぐ相談できる体制が出来ている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度を利用している利用者が1名いる為、職員も普段から関わり、実践を通して学び、理解している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は、虐待防止に関して資料を基に日頃から説明している。特に言葉による虐待は避けるよう、職員に周知している。また、利用者の入浴時は全身のチェックを行い、早期発見に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の契約は利用者、家族が不安にならないように、時間を設けて十分な説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>生活面での状況は、面会時に話している。体調不良時や変化があった時はその都度電話で報告しており、園だよりでも近況報告を行っている。金銭の出納に関しては月1回家族に確認してもらっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見、要望箱を設置して意見、要望等が出しやすいように配慮されている。家族から要望等がある時は面会時に直接話してくれることが多く、出された意見、要望に関しては誤解が生じないようにその都度確認しながら、迅速に対応している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホームの方針でマンネリ化を防ぐ為、A棟、B棟で定期的な異動はあるが、できるだけ馴染みの職員を2～3名は配置するようにしている。また、採用、退職、異動の時は利用者がダメージを受けないように一人ひとりに合わせ、さりげなく自然に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加した職員が報告書を作成し、職員会議の中で伝達するようにしているが、内部、外部研修の機会が少ない。		新人職員から段階に応じて、多くの職員が研修へ参加することが望まれる。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のグループホーム協会から交流に関する案内は来ているが、参加されていない。		地域の同業者と交流する機会を持ち、情報交換等されることが望まれる。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前は事前面接や体験入居、見学を通してホームの雰囲気を知ってもらい、安心して入居出来るよう配慮されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から生活の知恵として、祝日の成り立ち、料理、お供え餅、行事について等色々なことを教えてもらっている。また、職員が失敗した時に慰めてくれることもあり、利用者、職員共に支え合い、とても良い関係を築きながら生活している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の表情や動きを観察し、いつもと違う様子等に注意しながら、思いや意向を汲み取るよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	契約の時点でケアマネジャーが家族に、生活歴や趣味等も含めて意向を確認している。利用者の希望、職員の意見を反映しながら、介護計画の作成に取り組んでいる。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回定期的な見直しの他に、状態に変化がある時は随時見直しされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院の受診や理美容院への希望があれば、その都度送迎し柔軟に支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族が希望するかかりつけ医、医療機関を受診出来るよう支援されている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に重度化した場合や終末期に関してホームの方針を説明し、理解を得ており、家族、かかりつけ医、職員は方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の利用者への言葉かけや対応は優しく、誇りを傷つけないように配慮されている。居室への出入りも利用者、家族の同意を得ている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のその日の状態やペースに合わせ、希望に沿ってショッピングや畑作業等を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立を作成する時に利用者の希望を取り入れている。畑で採れた野菜や山菜等、旬の食材をメニューに入れる等の工夫がされている。また、利用者は食事の準備や後片付けを手伝ってくれている。食事は利用者、職員と一緒に食卓を囲み、会話や笑いがあり、和やかな雰囲気である。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴の他に夏季はシャワー浴を行っている。一人ずつの為ゆったりと入浴出来ている。また、入浴日以外は毎日足浴を行い、清潔保持に努めている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備、後片付け、掃除の手伝い、花や鉢の水やり、畑作業、草取り、洗濯畳み等一人ひとりの状態を把握しながら、楽しみながら行えるよう支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>すぐ近くに盛美園があり、散歩に行くことが多い。また、利用者からの希望があり、毎年猿賀神社へ初詣に行っている。出来るだけ利用者の希望に沿えるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会は行っていないが、資料やマニュアルで職員に周知している。管理者は何が拘束にあたるのか、日常的に話しており、職員は理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠している。職員がキッチンで作業している時も居間、玄関が見渡せるような造りになっていて、一人ひとりを見守りながら、自由に過ごせるよう支援されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今年度避難訓練計画を作成して消防署へ提出しているが、まだ実施されていない。職員の緊急連絡網や火災報知機、消火器等の設備は整備されている。		年2回、避難訓練を実施することが望まれる。また、災害時は職員だけでは限界がある為、地域の方の協力が得られるように、運営推進会議で話し合うことが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	市の保健師の指導を受け、栄養バランスを考えて献立を作成している。利用者の食事、水分摂取量は細かくチェックされ、一人ひとりの状態把握をして、健康管理に努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	資料、マニュアルで職員に周知している。利用者は全員インフルエンザ予防接種を行っている。玄関には手指の消毒液、マスクを置いている。園だよりで家族にも感染予防の協力を呼びかけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>吹き抜けの天窗から陽が射しこみ、明るく暖かさが感じられる。A棟、B棟の間に芝生の中庭があり、居間から出入りが出来るようになっている為、気候のよい時期はティータイムや外気浴を楽しんでいる。また、居間にはソファや一人用の椅子があり、それぞれ好みの場所で、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には備え付けのクローゼットが整備され、収納スペースが確保されている。利用者は使い慣れたタンスやソファを置いたり、家族の写真を飾っている。また、位牌を持って来て供養している方もおり、家庭的な雰囲気の中で居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p>		

 は、重点項目。